

事例 20

地域の環境を守ること。それは地球の環境を守ること。

～ 伯太町における農業集落排水事業の取り組み～

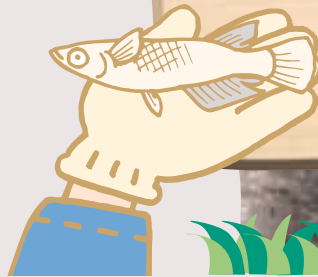
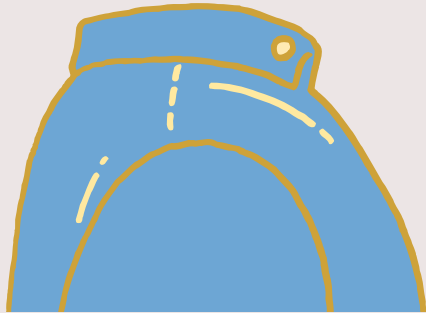
[伯太町]



【地区の概要】

[地区名及び事業年度]

母里地区	昭和63年度～平成5年度
井尻地区	平成5年度～平成7年度
安田地区	平成7年度～平成12年度
赤屋地区	平成8年度～平成10年度
古市地区	平成10年度～平成12年度



伯太町においては、昭和63年度から農業集落集落排水事業を実施し、平成12年度までに計画地区のうち5地区が完了しています。

快適な生活環境づくり

母里地区では農業用排水路への家庭雑排水の流入がなくなり、悪臭・ハエ・蚊等の発生が少なくなり、処理場周辺ではチューリーリップ祭りも開催されるようになりました。



母里地区の農業集落排水汚水処理施設

水環境の保全、環境学習の活性化

赤屋地区においては、地区住民の生活環境が農業集落排水事業により改善されたことにより、集落環境改善の意識が高まり、公民館活動による川の清掃活動などが一層活発化しました。

また、赤屋小学校においては、「地域の環境」をテーマに平成8年度より課外学習運動が行われており、農業集落排水事業には川や田んぼに住む生物の生息環境を守る効果がありますが、児童はその観察を行っています。



地区内の川で遊ぶ子供たち



川に住む水性生物の観察

子どもたちが観察した
地区内の川に生息する生物

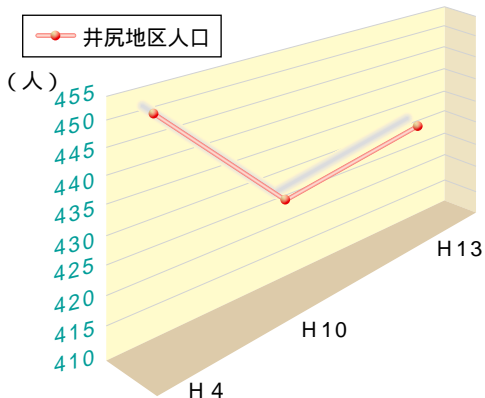
メダカ	ヤゴ
フナ	ヘビトンボの幼虫
コイ	カワゲラ
サワガニ	ゲンゴロウ



定住の促進

井尻地区においては、供用開始後人口減に歯止めがかかり、人口が増加傾向にあります。

井尻地区(H7完了)における人口推移



伯太町における下水道整備率

島根県における平成12年度末の島根県下水道整備率は、42.3%であるのに対し、伯太町は71%と高い整備率となっています。その内訳においては、農業集落排水事業による整備の比重が高くなっています。

島根県と伯太町のH12末

下水道整備率比較

